

平成 29 年第 3 回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに「待機児童対策事業の拡充」について申し上げます。

市では、本年 4 月より、私立保育園事業者を対象に、保育士の宿舍と駐車場借り上げにかかる補助制度を新たに創設し、待機児童の解消に努めて参りました。

しかしながら、保育需要の拡大や保育士不足などの理由により、平成 29 年 4 月 1 日現在、待機児童数は 10 名、9 月 1 日現在の待機児童数は、57 名と増加傾向にあります。

市の第 5 次総合計画の施策目標の一つである若い世代の定住及び子育てしやすいまちづくりを推進するには、待機児童の解消は喫緊の課題であることから、今回、私立保育園における保育士の給与月額の改善に取り組むこととし、「待機児童対策事業」として一般会計補正予算に計上いたしました。

内容としましては、私立保育園の保育士の給与月額について、千葉県保育士処遇改善事業補助金を活用しながら、市の単独補助分の 1 万円を上乗せし、合計 3 万円を上限とした給与月額の引上げを実施した保育事業者に対し、所要額を補助するものでございます。

このほか、先月には保育士の就労支援セミナーを開催したところですが、多角的に保育士の確保・定着対策を推進し、「待機児童ゼロ」の達成に向け、一層努めて参りたいと考えております。

次に「行政経営改革の取組状況」について申し上げます。

本年 3 月に、第 5 次総合計画の実現を下支えし、将来を見据えた持続可能な行政運営を推進するための基本方針として、「白井市行政経営指針」を策定したところです。この「白井市行政経営指針」に基づき、行政経営改革を着実に推進するため、具体的な取り組みの内容、時期、目標を明確にした「白井市行政経営改革実施計画」の策定を、市民参加により進めているところです。

計画策定に当たっては、外部組織として、学識経験者と市民公募委員からなる行政経営改革審議会に計画内容の調査審議をいただき、また、内部組織として、職員からなる計画策定のプロジェクトチームを編成し、部局横断的に計画案の策定に取り組んでおります。今後は、計画案が取りまとまりましたら、パブリックコメントを行い、今年度中の完成を予定しております。

また、行政経営指針に定められた「使用料・手数料の見直し」、「補助金の見直し」、「行政評価」の取組みについて申し上げます。

まず、「使用料・手数料の見直し」については、サービスを利用する者と利用しない者との負担の公平性の観点から、「使用料・手数料の考え方」を策定し、見直しを行いました。

この検討結果を基に、平成30年4月から使用料・手数料の見直しを実施するため、本議会に関係条例の整備について提案しております。

次に、「補助金の見直し」については、全庁的に統一した方針を示した上で補助金を見直す必要があることから、「白井市補助金のあり方の基本方針」を策定し、現在、見直しを行っているところです。補助金の見直しの実施時期については、平成30年度からとし、当初予算に反映してまいります。

最後に「行政評価」については、事務事業評価及び事務事業の見直し基準を定め、全庁的に統一した考えの下、必要性・有効性・効率性の視点から、事業のスクラップやゼロベースからの見直しなどを進め、できるものから平成30年度当初予算に反映してまいります。

次に「平成30年度予算編成方針」について申し上げます。

このことについて、平成29年8月31日に決めましたので、概要についてお伝えします。

平成30年度は第5次総合計画前期基本計画の中間年であり、基本構想に掲げる市の将来像「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向けて、計画事業の進捗状況をしっかりと見極め、将来を見据えた持続可能な行政運営の推進に留意して、予算編成作業に取り組む必

要があります。このためには、「職員一人一人が将来に対する危機意識を強く持ち、予算要求に臨む必要がある。」ということを念頭に次の項目について決めました。

まず、「第5次総合計画」に関して、総合計画においては、将来像を実現するために3つの重点戦略「若い世代定住プロジェクト」、「みどり活用プロジェクト」、「拠点創造プロジェクト」を掲げています。この重点戦略は、市の厳しい財政状況を踏まえながらも、持続可能なまちづくりを進めていくために、今後、優先的・重点的に力を入れて取り組まなければならない事業を明確化するために定めたものであります。

また、重点戦略に基づく施策は、庁内横断的な要素が含まれており、単独の課等のみで取り組むのではなく、複数の課等が連携して事業を展開することにより、相乗効果を発揮して事業効果と効率性を高めていくことが重要です。

それをふまえ、平成30年度当初予算の編成に当たっては、重点戦略に基づく事業に、優先的・重点的に予算を配分することとしました。よって、各部においては、3つの重点戦略における各々の役割と責務を再確認し、目的を達成するための予算要求をすることとしました。

また、「行政経営改革」に関しては、先にご説明させていただきましたように、現在、同指針に基づき、具体的に取り組むための「行政経営改革実施計画」を策定中であるため、平成30年度は、基本方針で示された取り組み事項の下、先行して取り組めるものについては取り入れることとし、スクラップ&ビルドの徹底を図ることとしております。そして、第5次総合計画の前期基本計画と後期基本計画のそれぞれの最終年度における基金残高等の目標値を示しました。

これらの事項に留意し、今後の白井市の姿を見据え、身の丈に合った予算とするための編成作業を進めてまいります。

次に「福島県伊達市との友好交流協定調印式」について申し上げます。先の議会でご報告させていただきました、「福島県伊達市との

友好交流協定調印式」について、調印式の日程が10月26日に決定しましたのでご報告します。福島県伊達市とは、東日本大震災を機に、災害時の応援協定を締結して以来、交流を深めております。防災、経済、産業、教育文化などの各分野において双方の特性を生かしながら交流を積極的に推進し、これまで培ってきた友好関係をさらに推進するよう、友好交流協定の締結に向けて準備を進めているところでございます。

最後に、「白井市のPR」について申し上げます。

市のPRについては、平成28年度に「シティプロモーション基本方針」を策定し、今年度「しろいの魅力発信課」を新設し、力を入れているところです。その一つの取り組みとして、知名度を上げるために発信力のあるテレビやラジオなどのマスメディアに白井市を取り上げていただくことも大事であると考え、ふるさと大使が出演する番組で白井市をPRしていただくほか、報道機関に積極的に情報提供を行ない、これまでテレビでは全国ネットのNHKニュースやケーブルテレビのローカル番組など、ラジオではNHKエフエム千葉に取り上げていただきました。

この様な中、明日9月2日午後2時より、ジェイコムの公開生放送番組「週刊シティプロモーション・ご当地サタデー」に白井市が取り上げられることとなりました。東京スカイツリー5階にある、「ジェイコムワンダースタジオ」と、「やおばあく」など白井市内を結び、生中継で白井市の魅力が約1時間全国に放映されます。「食べたい、買いたい、行きたい」をテーマに特産の梨やグルメ、観光スポットなど白井市の魅力をじっくり届ける番組構成となっております。私も出演し白井市の魅力をプロモーションしてまいりますので、ジェイコムに加入している方はぜひご覧いただき、しろいの魅力を再発見していただきたいと思います。

また、当日は放送終了後、同スタジオ内で白井市のシティプロモーションイベントも開催されますので、お時間のある方はご来場いただきたいと思います。

今後もあらゆる機会を通じて市内外に白井市の魅力を発信してまいります。

以上で諸般の報告を終わります。